

土木学会 鋼構造委員会「鋼構造若手技術交流小委員会」委員の募集

土木学会鋼構造委員会では、以下の小委員会を新たに設置いたします。本小委員会にご参加いただける方を募集いたします。本小委員会の目的および内容は以下の通りです。

1. 委員会名称

鋼構造若手技術交流小委員会

2. 委員構成

委員長： 服部雅史（中日本高速道路（株））
副委員長： 山口慎（東日本旅客鉄道（株））
幹事長： 森山仁志（徳島大学）
委員： 公募による（20名程度を想定）
連絡幹事： 山口隆司（大阪公立大学，鋼構造委員会委員長）
春日井俊博（（株）横河ブリッジ，鋼構造委員会副委員長）

3. 委員会設立の背景および目的

鋼構造は近代社会の発展の礎をとして、社会インフラの重要な役割を占め、必要不可欠な技術分野であり、その建設や維持管理に関する研究や技術開発は今後も引き続き必要となります。鋼構造の未来を見据えると、その分野の研究者、技術者がこれまで同様、持続的に生まれ育ち、活躍していく環境を醸成する必要があります。

一方、現在、鋼構造を志す若手研究者・技術者は減少傾向にあります。その背景には、長大橋など世間にも注目を集めるようなビッグプロジェクトが少なくなってきたことで、魅力を感じにくくなっていると考えられます。今後、成熟した都市インフラの更新や改築、街の橋の維持管理など、鋼構造の担う役割はこれまで以上に大きく、研究・開発のニーズは一層の増加が予想されます。時代の変化に応じて、時宜を得た研究・開発を継続するためには、個人、個社にとらわれることなく、様々な交流を深め、多様な価値観のもと思考することが重要となります。すなわち、鋼構造の分野に進む研究者、技術者を増やし、所属組織を超えた技術交流により技術力を研鑽し、ニーズをいち早く取り入れて研究開発を進め、鋼構造を生かした社会インフラの構築に役立てていくことが求められます。

そこで、鋼構造の分野の若手の研究者、技術者に対して、技術交流の機会を提供することで鋼構造の分野の活動の活性化、イノベーションの創出、魅力向上など、サステナブルな分野の展開・発展の機運醸成を図ることが本小委員会の目的です。交流の中から、サステナブルな分野の展開・発展に繋がるアイデアを提示していくことができると考えています。

4. 活動期間と活動方法

- 2025年6月～2027年5月頃（約2年間） ※旅費，交通費は支給されません
- 年4回程度の委員会（対面およびオンライン開催）

5. 活動内容

- ▶ 他分野や他業界での若手の技術交流促進の取組み事例の調査
- ▶ 各委員や中堅、ベテランからの話題提供から、分野の展開・発展に繋がるアイデアについての議論
- ▶ 将来の鋼構造のニーズの把握
- ▶ 若手の研究者、技術者の技術交流の機会の創出 など

6. 応募方法

本小委員会に委員として参加を希望される方は、(1) 氏名、(2) 年齢、(3) 所属、(4) 連絡先（住所、電話番号、E-mail アドレス）、(5) 興味にある検討事項等を、下記の応募先まで E-mail に記載いただきご連絡ください。応募の際のメール件名は「鋼構造若手技術交流小委員会参加希望」とご記入ください。

また、中堅、ベテランの研究者、技術者の方より、若手の方を推薦いただくことも構いません。その際の応募連絡は参加希望者本人もしくは推薦者のどちらからでも構いませんが、参加希望者についての(1)～(5)を E-mail に記載いただきご連絡ください。

応募の締切は 2025 年 4 月 30 日（水） とします。

7. 応募要件

以下のような思いを抱く 20, 30 歳代の若手の研究者、技術者にご参加いただけることを考えております。ただし、20, 30 歳代に限らず本委員会の活動内容にご興味ある方であればご相談ください。

- ▶ 鋼構造の更新や改築、維持管理に興味、関心がある
- ▶ 研究・開発のニーズやシーズの情報交換がしたい
- ▶ 他分野や他業界の方と繋がり、人脈を増やしたい
- ▶ 相談できる同世代の知り合いが欲しい
- ▶ 研究・開発の議論を本音でできる仲間と出会いたい
- ▶ 中堅、ベテランなど先輩からこの分野の可能性について聞きたい
- ▶ 今後この分野を目指す子供、学生、後輩にこの分野の魅力を伝え、育てたい
- ▶ 既存の鋼構造の常識にとらわれず、自由な発想で新しい構造・技術を考えてみたい
- ▶ 鋼構造を生かした社会インフラが、当たり前のように社会に存在する未来に貢献したい など

<応募先、問合せ先>

服部雅史（中日本高速道路（株））

E-mail: m.hattori.ab(at)c-nexco.co.jp ※(at)は@に変更してください

以 上